

仕様

仕様	AS-GM01
外形寸法(全体)	Φ350mm x 37mm
外形寸法(本体)	Φ240mm x 30mm
重量	474g
GNSS受信機仕様	受信方法:GPS、QZSS L1 C/A、GLONASS L10F 更新レート:1Hz
測位方式スタティック測位	短縮スタティック測位
スタティック測位精度	H: 10mm + 1ppm x D* RMS* V: 10mm + 2ppm x D RMS
動作時間	連続6~7時間(長時間計測モード時)
充電時間	4.5時間
動作温度	-10~50℃(通常動作時)、5~45℃(充電時)
保管温度	-15~60℃
防塵防水等級	IP65
データ保存メモリ	8GB
インターフェース	USB2.0 TypeB (充電、データダウンロード用)、Bluetooth4.2
付属品	識別用シート、固定用台座、USBケーブル

*D:基線長(kmで10km以下)、*RMS: 2乗平均平方根

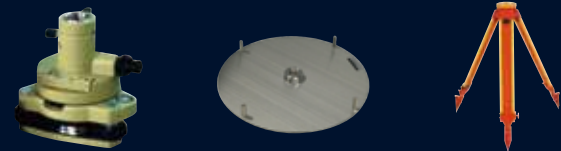
アプリ・オプション



iOSアプリ「Marker Navi」

iOSアプリ「Marker Navi」と連携し、エアロボマーカの観測状態、特にGPS衛星電波強度を現場で確認できます。

オプション品



整準台

三脚アダプター

三脚



AeroSense
<https://aerosense.co.jp>

※本カタログの情報は2024年4月現在の内容です。
仕様等は、事前予告なく変更となる場合がございます
ので予めご了承ください。



AEROBO®
marker

GNSS受信機内蔵
対空標識

エアロボマーカ

対空標識の位置情報を自動で取得できるため
作業時間を大幅に短縮することができます。



主な特徴

01 大幅な省力化

電源を入れて置くだけでGNSSデータを受信。
評定点や検証点の位置を1つ1つ測定する
手間が省け、大幅に作業時間を短縮できます。

02 高精度

国土地理院の性能基準を満たす
2級GNSS測量機器として登録済み。
対空標識としてだけでなく、
基準点測量も簡単に行うことができます。

03 簡単操作

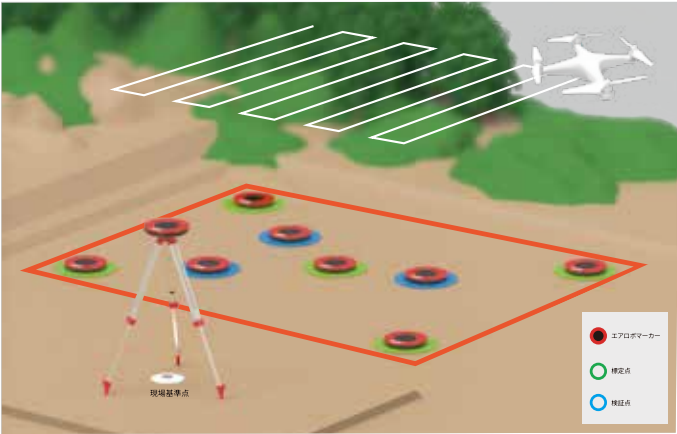
エアロボクラウドと連携することで
写真中のエアロボマーカを自動認識し、
評定点・検証点のGNSS座標との
マッチングを行います。



ドローン測量対空標識

GNSS内蔵の対空標識として 作業時間を大幅に短縮

ドローン写真測量の標定点・検証点として現場に
置くだけでその位置情報を自動で計測。
±5cm 精度の測量を効率良く行えます。



1.電源を入れて現場に設置

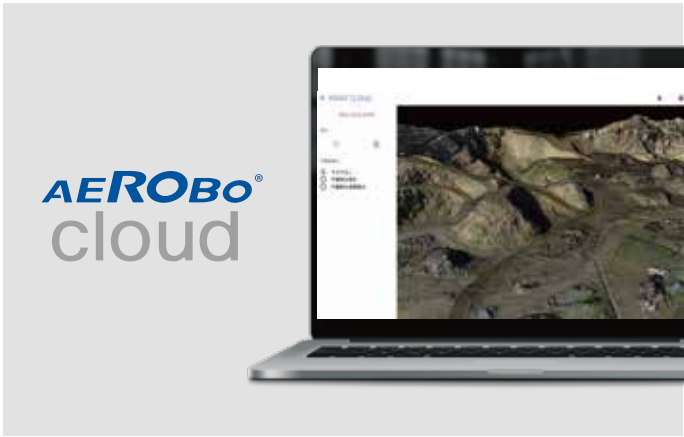
市販の対空標識と異なり設置場所の位置情報を自動で計測します。
そのため、2 周波ローバー等を使い、 標定点や検証点の位置を手動計測する工程を省くことができます。

2.エアロボクラウドで解析

オルソ画像や 3D 点群をエアロボクラウドで作成する際、空撮写真上のエアロボマーカに自動的に GNSS 座標データを割り当てることが可能です。
これにより作業時間が大幅に短縮します。

3.データ・レポートの作成

オルソ画像や3D 点群の作成に加え、精度管理に必要な画像解析計算レポートを出力することができます。



オルソ画像	3D 点群	レポート
・オルソ画像 (JPEG,GeoTIFF) ・DSM ファイル (TIFF)	・3D 点群 (XYZ,LAS/LAZ) ・メッシュファイル (OBJ)	・画像解析計算レポート (PDF) ・エアロボマーカ測定結果 (CSV) ・エアロボマーカログ (RINEX OBS)

基準点測量

設置しておくだけで現場基準点の作成が可能

国土地理院基本測量機種台帳 2 級 GNSS 測量機器として認可済みのため、
基準点測量に利用できます。

1.設置

エアロボマーカに専用アダプタ
を取り付け、三脚および整準台に
セットしてスイッチオン。

2.計算

計測した座標位置情報を使って、
エアロボクラウドで基準点測量に
必要な計算を実施。

3.生成

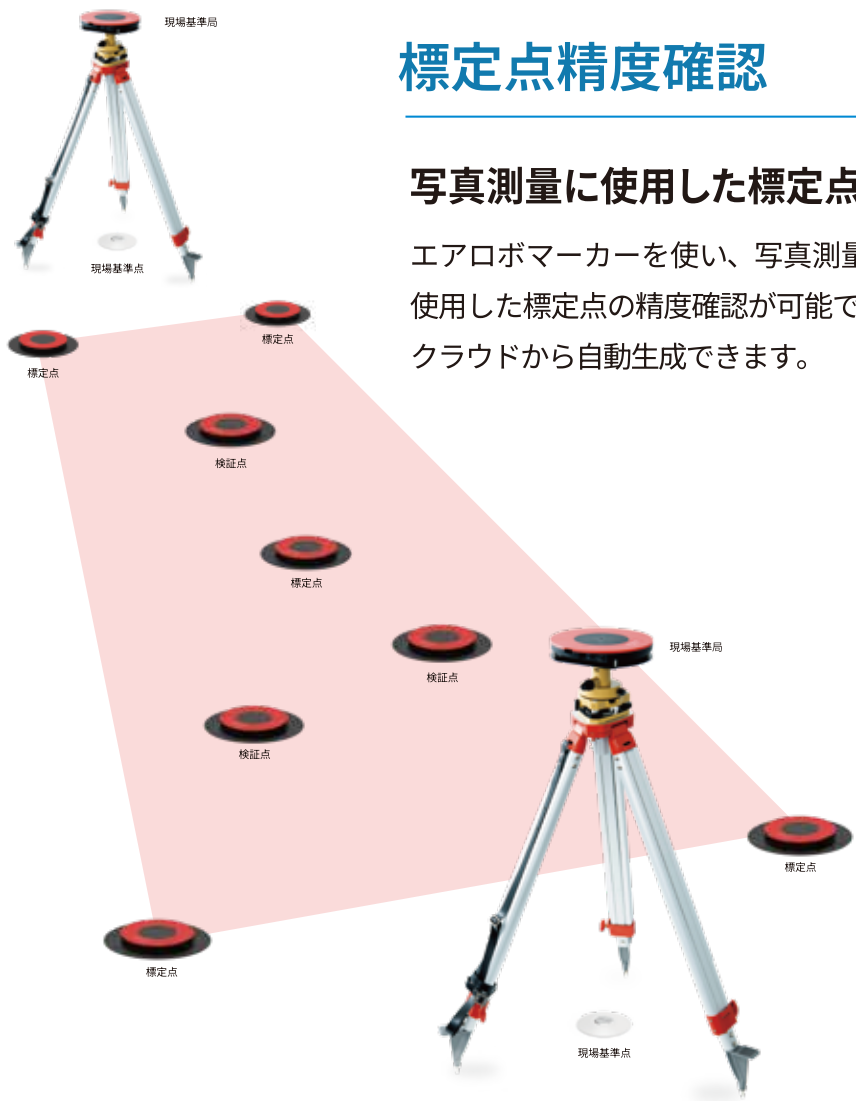
公共測量作業規定準則を満たす帳
票群を自動で生成。



標定点精度確認

写真測量に使用した標定点の精度を確認できます

エアロボマーカを使い、写真測量と基準点測量を同時に行うことによって、
使用した標定点の精度確認が可能です。また、実用網と精度管理表等をエアロボ
クラウドから自動生成できます。



出力帳票（基準点測量）